

# よもやま話

## 六日講

員弁組六日講は、菰野町田口と田口新田にそれぞれ1カ寺、大安町石樽に6カ寺、丹生川に4カ寺、片樋と平塚にそれぞれ1カ寺の合計14カ寺で構成しております。

古くは毎年3月から10月まで、六日の日に持ち回りで法座をお勤めしていました。しかし、平成18年より僧侶自身が教義についての理解を深め、さらには、資質向上のための学習の場として、研修を行なう形に改めました。寺院を取り巻く、様々な課題に向き合っ活動の場を広げようとするこも、僧侶に課せられた役割と一人一人が自覚しているからです。

六日講には、門徒総代会、仏教壮年会、仏教婦人会、日曜学校の各教化団体がありそれぞれ活動をしています。また、連研修了者会の組織活動も活発です。例えば、仏教壮年会と婦人会、連研修了者会三者合同研修会も多彩な講師を迎えて、特色ある研修活動と言えるでしょう。

門徒講習大会は、毎年持ち回りで実施していますが、ここ十年近くキッズサンガの取り組みで子どもを対象にして、工夫を凝らして実施していますが、今後どのように変遷していくかが興味深いところ。 六日講副組長 渡辺邦俊（松隆寺）



▲友久 久雄 師  
京都大学医学部付属病院医師。  
龍谷大学名誉教授。本願寺派布教使。



門徒講習大会「キッズサンガ」

## 第11期 員弁組連研 第8回を終えて

今年7月8日に員弁組連続研修会の開講式が行われて半年になりました。今月まで17回中の6回が修了し、53名の受講者もほとんどが毎月の連研に参加しています。

『仏事作法』では基本のお参りの仕方を体験していただき日頃の法要仏事の正しい仕方を学んでいただいています。

『話し合い法座』では毎回変わるテーマに困惑しながらも、それぞれの人生で経験した出来事を、時には笑顔で、時には他人には話したくないような辛い経験を話していただいています。

話し合い法座の終了時間が終わっても、なかなか話が止まらなくなっているほど熱心に話し、聞かされてる姿が回数を重ねていくたびに増えています。

1月27日に、菰野町の希望荘で、第7回・第8回の研修会・懇親会が受講者：47名、門徒推進員：20名、住職：25名の総勢92名で開催されました

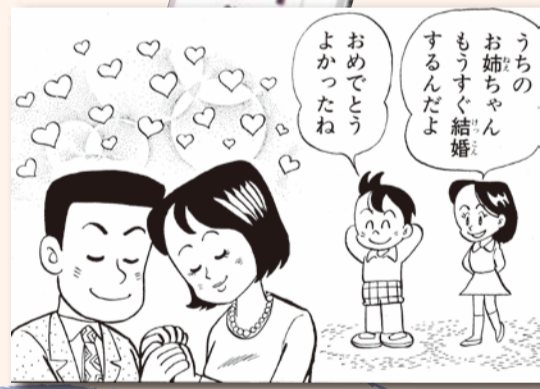
最終日まであと半年と少しありますが、月1回の連研を楽しんでいただきたいと思います。 藤田智（蓮成寺）



▲話し合い法座

▲焼香の作法の様子

## マンガで見る仏事入門



### 仏前結婚式

